

建廃協NEWS 第19号

1. 講演と懇親の集い 9月13日(金) 明治記念館

建廃協恒例の「講演と懇親の集い」が9月13日(金)に、300名超の参加者を迎え明治記念館で開催されました。

この集いは長い歴史を持ち、今回27回目の開催で建廃協の一大イベントとなります。始めに島田理事長の開会の挨拶、続いて公益社団法人全国産業廃棄物連合会の石井邦夫会長に来賓挨拶をいただき、講演の部がスタートしました。



理事長 島田啓三



全産連 石井邦夫会長

今年のテーマは「一歩進んだ建設リサイクル」

まず、株式会社トクヤマ・チヨダジブサムの世良田浩二社長の「廃石膏リサイクル技術」では、通常は再生石膏混合率が上限10%のところを、結晶構造の改質(大結晶化)を図り、再生石膏混合率の制限を意識せず、石膏ボード原料に100%再利用することができるということです。

休憩をはさんで、災害廃棄物の現地破碎選別技術について、株式会社建設技術研究所の吉田秀雄技師長より説明を受けました。現地での選別技術高度化のための実証試験等を学ぶことができ大変勉強になりました。次に日本工業大学の小野雄策主任教授と建設廃棄物協同組合 伊勢文雄副理事長より、それぞれふるい下残渣についての処理及び基準等について説明を受けました。新しい選別方法(渦巻流による風力選別装置)やガイドラインの話を知ることができて大変勉強になるとともに、ふるい下残渣の適正処理の重要性を再認識しました。

懇親の部で青年部のお披露目

懇親の部では、新規入会会員の三社(エヌエスコポーレーション(株)、北関東環境開発(株)、鈴健興業(株))の紹介から始まり、塚本様(環境省)、伊藤様(国交省)、米谷様(日建連)、にご挨拶をいただき、塚田様(建設六団体)の乾杯のご発声で歓談が始まりました。途中、各組合員より選定されたメンバーで構成された青年部の披露が行われました。「ひろがれ、繋げよう『絆』我々に出来ること」のスローガンの基、若い世代で組合活動の活性化を目指し発足しました。今後の活躍が期待されます。



世良田 浩二代表取締役社長



古田 秀雄技師長



小野 雄策主任教授



副理事 伊勢 文雄



2. 自主管理システム更新パトロール 8月30日(金)

株式会社共同土木 東京中間処理工場

8月30日(金)、株式会社共同土木 東京中間処理工場にて自主管理システムの更新視察を実施しました。

冒頭で株式会社共同土木の施設に関する概要をDVDで視聴した後、処理フロー図を見ながらふるい下の発生工程について高橋工場長より説明が行われました。

説明後の帳票チェックについては、三工場分(東京・千葉・埼玉)を2グループに分け、石膏ボード・ふるい下・Bガラのそれぞれ3品目の処理先を、5~7月の3か月分チェックしました。

株式会社共同土木では、二次処理の約8割を電子マニフェストで運用しているため、公開データとの点検についても差異は見られず、また紙マニフェストにみられる記入ミスやサイン漏れなども、紙マニフェスト自体の扱い量が少ないためか、指摘するような問題点は全く見られませんでした。

施設内点検についても、一般の見学コース以外の場所も綺麗に片づけられており、場内を鉄板で敷き詰められている中で働いている従業員の安全衛生管理についても、1時間ごとに休憩を入れ、給水等の時間を確保しているなど配慮が見られました。今年の猛暑でも、熱中症による体調不良を訴えた作業員はゼロとのことでした。



↑ 公開情報の確認



↑ 施設状況の確認

3. お知らせ

☆9月21日から30日まで秋の交通安全運動を実施します。

配布しました要綱、ポスターを確認いただき、多くの参加をお願いいたします。

★新組合員、新賛助会員のご紹介。

組合員 エヌエスコーポレーション株式会社(神奈川県横浜市)

賛助会員 加藤商事株式会社(東京都港区)

☆10月の定期講習会は22日(火)です。希望者はご連絡ください。

お問い合わせ:jimukyoku@kenpaikyo.or.jp まで



建設廃棄物協同組合 総務部会

編集 株式会社共同土木 高梨 智久